

平成26年度愛知県がんセンター公開講座(第1回)のご案内
「がん患者及びその家族への支援」
= 平成26年5月31日(土)開催 =

< 講師からのメッセージ >

「相談支援センターのご案内

～がんに関する不安や悩みごとの相談窓口～」

相談支援センターでは、がんのことやがんの治療について、また今後の療養や生活のこと等、がんの医療に関わる質問や相談を、看護師または医療ソーシャルワーカーがお受けしています。

例えば...

「がんと診断されて、不安でたまらない」「検査や治療の説明があったがよくわからなかった」

「治療費が心配」「仕事は辞めないといけないのだろうか」

相談支援センターは、患者さんやご家族のほか、地域の方々からご利用いただくことができます。がんに関する悩みごとがありましたら、どうぞご利用ください。

中央病院地域医療連携・相談支援センター 室長補佐 船崎 初美

「がんでも働きたい ～就労相談の現場から～」

“社会保険労務士”を知っていますか？

愛知県がんセンター中央病院では、昨年10月より社会保険労務士によるがん患者さん向けの就労相談を行っています。がんの治療と職業生活は切り離して考えることができず、多くのがん患者さんが仕事を続けたいと考えておられます。就労相談では、一人一人の状況等をお聴きしながら、どうするのが良いか患者さんやご家族と一緒に考えています。

今回は、就労相談の取り組みのご紹介とともに、がんになったときに利用できる制度や働く上での工夫などについて、社会保険労務士の視点からお話ししたいと思います。

中央病院 地域医療連携・相談支援センター相談員 社会保険労務士 山下 芙美子

「支えあい・がんのピアサポート」

「ピア」は、仲間や同じ立場。「サポート」は、支えるという意味を持っています。「がんのピアサポート」は、がんの体験者が約1年間のピアサポーター養成講座を修了し、同じ立場で患者さんやご家族の悩みを傾聴し、問題や課題を共に考えます。

がんの悩みは多層的であり、手厚い相談支援体制が必要ですが、がん体験者によるピアサポートの有用性は、がん対策推進基本計画にも明記されています。愛知県がんセンター中央病院におけるピアサポートの取り組みを通して、がんのピアサポート活動を紹介します。

NPO法人ミーネット理事長 花井 美紀

「がんの親をもつ子供のサポートグループ (CLIMB プログラム) 患者サロンについて」

私たちは、病院で患者さんと医療者として出会いますが、患者さんは生活者、社会人としての歴史を歩まれており、ご家族と共にあります。私たちは患者さんとしての一側面だけでなく、患者さんや大切なご家族をとりまくすべてのことを含めて支援者である必要性を感じています。がんに伴って生じる悩みは様々であり、窓口となって相談できる場所、共有できる場所はもっと開かれていいはずです。当院では一昨年より患者さんのお子さんを対象にした「CLIMB プログラム」、昨年より患者さんやご家族が交流できる場としての「患者サロン」を開催しています。人と人との交流は支えとなり、大きな力となっていきます。その取り組みについて知っていただければと思います。

緩和ケア認定看護師 深谷 恭子